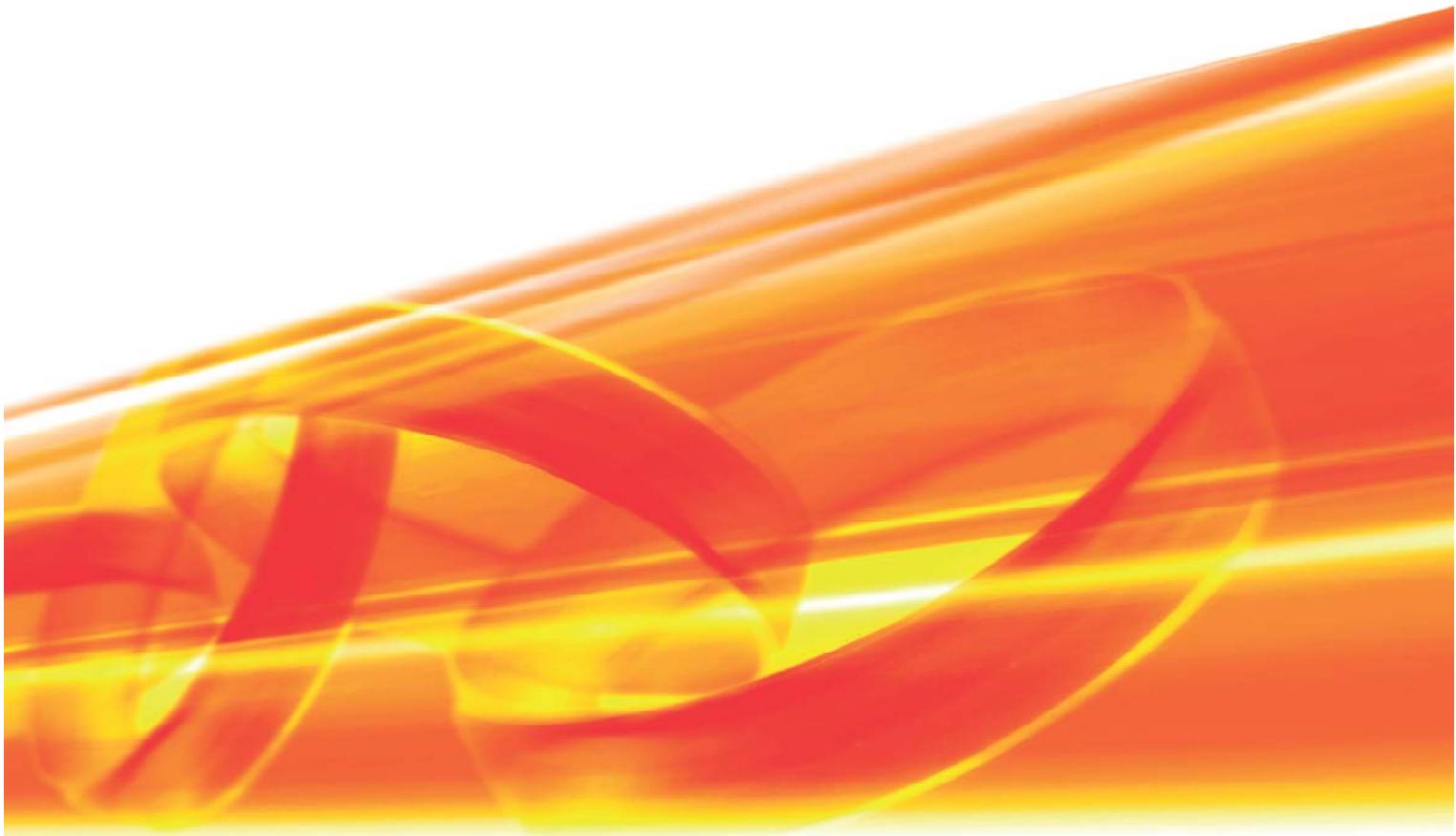




2010

“理念経営”実践報告書 2010
広げよう マスヤグループの輪 ーありがとう!あなたの笑顔ー





広げよう マスヤグループの輪



経営方針

経営理念

一番大切な人に食べさせたい製品を作る。 (ものづくりの心)
仕事を通して人生の幸福を追求する。 (ひとづくりの心)
地域社会の豊かさづくりに貢献する。 (地域に向ける思い)

社是“三つの誠実”

- 【その一】 「お客様、お取引先様から信頼される“誠実な企業”」
- 【その二】 「地域社会から信頼される“誠実な企業”」
- 【その三】 「従業員から信頼される“誠実な企業”」

行動指針

1. 良い製品とサービスはお客様への愛情から生まれる。
2. 法令・社会規範を学び、遵守する。
3. 嘘をつかない、真実の報告をする。
4. “笑顔”と“あいさつ”で明るい職場をつくる。
5. “現場主義”的徹底で風通しのよい職場をつくる。
6. 全ての取引先と公正・透明な取引を行う。
7. 知識・技術・経験の共有で強い組織をつくる。
8. 省エネ・廃棄物削減の知恵と工夫で環境を守る。



一ありがとう! あなたの笑顔ー

ごあいさつ

私たちマスヤグループは、日本人の心のふるさと伊勢神宮にほど近い、地味豊饒、気候温和な伊勢・小俣の地で創業46年目を迎えました。「おにぎりせんべい」(株式会社マスヤ)や、清酒「おかげさま」(株式会社伊勢萬)をはじめとするロングセラー製品の製造に加え、成長が続く中国市場での事業展開(万寿家(天津)食品有限公司)、また近年では地域社会が直面するニーズに応える高齢者ケア事業への進出(株式会社エムケイ・コーポレーション)など、時代の流れに即した事業展開にも取り組んでおります。

マスヤグループでは、「経営理念」「社是」「行動指針」に基づく理念経営を進めております。「良い会社をつくろう」を合言葉に、食品製造、酒類製造、高齢者介護などの各事業を通して、お客様、従業員、そして地域の皆さんにより良い価値、満足そして幸せを提供することを目指し、従業員一同、日々努力と研鑽を重ねております。この報告書は、お客様、お取引先様をはじめ日頃お世話になっている関係者の皆さんに、マスヤグループのこの一年間の理念経営の様子をお伝えするために作成いたしました。

報告は、三つの経営理念に従い
「1. ものづくり」「2. ひとつづくり」「3. 地域貢献」の三部構成になっております。ご高覧いただければ幸いです。

どうか今後とも私たちマスヤグループにご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年11月



株式会社 マスヤグループ本社
代表取締役社長 浜田吉司

1 ものづくり

一番大切な人に食べさせたい製品づくり

○ 全国新酒鑑評会にて清酒「おかげさま大吟醸」が金賞受賞

(株)伊勢萬



おかげさま大吟醸が金賞受賞



おかげさま大吟醸



おかげさま純米焼酎

全国の清酒蔵が年に一度、その味と香りを競う「全国新酒鑑評会」にて、(株)伊勢萬の清酒「おかげさま大吟醸」が念願の金賞を受賞しました。全国で最も小さい酒蔵の一つと言われる弊社酒造場の快挙は、地元のテレビや新聞でも盛んに紹介されました。

実力蔵の仲間入りを果たした証として、製造スタッフはもとより伊勢萬スタッフ全員の自信と誇りにつながりました。

国際酒類品評会でも受賞

また(株)伊勢萬は、本年度、ヨーロッパとアメリカで権威ある2つの品評会へもチャレンジしました。

アメリカのサンフランシスコで開催された「サンフランシスコ国際スピリット品評会」には新製品「おかげさま純米焼酎」を出品し「シルバー賞」を、またベルギーのブリュッセルで開催されたITQI国際味覚品質研究所の主催する品評会にはリキュールの新製品「ステラハーフムーンジンジャー酎」を出品し「2Star」を、それぞれ受賞しました。

○ 「ISO(品質マネジメントシステム)永年登録表彰」を受賞

(株)マスヤ

(株)マスヤでは、1998年3月に米菓メーカーとして日本初のISO9002の認証を行なって以来、12年間にわたって認証を維持してきました。このたび、(財)日本規格協会より、永年登録表彰をいただきました。全国では488社、中部地方では65社が表彰されました。

今後も、ISOの仕組みを継続することを目的にするのではなく、良い会社を目指す理念経営を進めていく中での道具として上手く活用ていきたいと考えております。



10月1日 表彰式

○ F C P「協働の着眼点」の活用

(株)マスヤ・(株)和菓子の万寿や



FCP証明書(左)・事由書(右)

FCP(フード・コミュニケーション・プロジェクト)とは、農林水産省の提唱により、食品事業者、流通事業者、行政等が連携して「食への信頼性向上」に取り組むプロジェクトです。フードチェーンを構成する業者がお客様目線でより良い仕事をするための「協働の着眼点」の活用や、食品工場の格付けなどの準備を進めています。

マスヤグループでも、「協働の着眼点」の取り入れや、各種検討会への参加、食の「見える化」ツアー受け入れなどに協力しています。

○ 読売テレビ「秘密のケンミンSHOW」に「おにぎりせんべい」が登場

(株)マスヤ

人気テレビ番組「秘密のケンミンSHOW」に、「大阪府民が愛してやまない秘密のおせんべい」として「おにぎりせんべい」が紹介されました(5月13日放映)。お客様に「ワクワク・ドキドキ」の楽しさをお届けしたい私たちの思いがテレビの電波に乗って全国に届き、販売力バー率の低い東日本の視聴者の方々から「おにぎりせんべいって何?」という問い合わせが相次ぎました。

その後、関西テレビ、東海テレビからも「ロングセラー商品の素顔に迫る」などの取材を受け、情報番組内で取り上げられるなど、賑やかな話題をふりまきました。



「秘密のケンミンSHOW」のワンシーン

○ 今年度の主な新商品

グループ各社



おにぎりせんべいソース味(左)、おにぎりの種チーズ味(中)、おにぎりの種えびわさび味(右)



伊勢の万寿や さわ餅(左)、手包みおはぎ(右)



「水戸浪漫 糸ひくあられ」

「おにぎりせんべいソース味」 (株)マスヤ

「おにぎりせんべい」から久しぶりとなる新味の全国発売として、「ソース味」が登場しました。おかげさまで大きな反響を呼び、この発売をきっかけに定番の「しょうゆ味」にも増収効果が出ました。

「おにぎりの種チーズ味」、「同・えびわさび味」 (株)マスヤ

おつまみタイプの「おにぎりの種」シリーズに新味を投入しました。おつまみコーナーの棚でも、おなじみの緞帳模様が目につくようになっています。

「伊勢の万寿や さわ餅」、「手包みおはぎ」 (株)和菓子の万寿や

伊勢志摩地方に古くから伝わるご当地菓子の「さわ餅」を羽二重もち米と杵つき製法で作りました。草餅タイプには風味と香りに優れた国産よもぎを使用しました。「手包みおはぎ」は、丁寧な手包みでしか味わえない北海道小豆とお米の粒感が特徴です。

「水戸浪漫 糸ひくあられ」 (株)日乃本米菓製造

水戸名物と言えば納豆。その納豆を使ったあら間に、口の中で粘る不思議な食感の「糸ひくあられ」が登場しました。茨城発の新名物として好評です。

○ 工場見学の受け入れ

グループ各社

お客様に製造工程の様子をご覧いただくと共に、子供達には食育の一環として思い出に残る経験をしていただくために、各工場で積極的に工場見学を受け入れておられます。

この1年の主な実績

●(株)マスヤ

周辺市町村の小学校・幼稚園(23団体、約1,100名)

●(株)和菓子の万寿や

中国の食品メーカー、留学生(2団体、54名)

●万寿家(天津)食品有限公司

生協などお取引先関係(6団体、53名)

日本の金融機関、地元の大学・幼稚園など(4団体、106名)



(株)マスヤ 幼稚園児の見学風景

○ 「大切な人に食べさせたいものづくり」の実践

グループ各社



ワクドキ工場見学会(122名参加)

従業員家族の皆さんによる工場見学会 (株)マスヤ

従業員のご家族の皆さんを対象とする「ワクドキ工場見学会」を開催しました。私どもの事業活動に理解を深めていただくと共に、ご家族の皆さんにも会社をより身近に感じていただける良い機会になりました。

営業社員による月例工場巡視 (株)マスヤ

お客様に商品をご案内する営業員が製造工程をしっかりと理解し、また営業員の目でお客様に代わって普段の製造現場を再点検するため、営業員による当番制の巡視活動を開始しました。気がついた点は製造会議などにフィードバックされ、より良いものづくりにつなげるために活かされています。

手包み講習会 (株)和菓子の万寿や

ベテラン職人の指導の下、和菓子づくりの基本である「手で包む」技術を従業員が学ぶための「手包み講習会」を実施しました。これからも、機械化により軽視されがちなものづくりの心の伝承に努めています。



毎月営業社員1~2名が交代で工場巡視を実施

2 ひとづくり

仕事を通した人生の幸福を求めて

○ 従業員大会に大久保寛司氏ご来演

グループ全体



ご講演の様子

グループ従業員大会も、今年で3回目を迎えました。今回は特別ゲストとして「人を大切にする経営」の提唱者として著名な「人と経営研究所」大久保寛司所長にご来演頂きました。約3時間のご講演は笑いあり感動ありで、働く人の幸福を目指す経営の大切さやチームワークの素晴らしさが、聴講した323名の従業員全員の心に残りました。講演後の懇親会も各社対抗のイベントで大いに盛り上がり、「良い会社づくり」への共感の深まりが実感できた従業員大会でした。

○ 経営品質向上活動

グループ各社

グループ各社がそれぞれの事業活動の中でより良い顧客価値の実現を図るための共通のプラットフォームとして、(財)日本生産性本部が提唱する「経営品質向上活動」のフレームワークを活用しています。「経営品質向上活動」は、①顧客本位、②独自能力、③働く人重視、④社会との調和の4つの基本理念の下、顧客価値向上のために変革し続ける組織づくりを目指すものです。今年度は、以下の項目に取組みました。

- 各社の組織プロフィール(目指す姿、あるべき姿)の作成
- 役員評価に経営品質アセスメント基準を取り入れ
- ベンチマーキング(先進企業に学ぶ機会)の実践
- セルフアセッサー受講(2名が資格取得、3名が受講終了)



(株)日乃本米菓製造 経営品質向上活動

○ 仕事塾の活動

グループ全体



自主勉強会(浜田塾)

社内段位認定制度

従業員一人ひとりが自律的な仕事を目指す上で、ビジネススキルや専門知識の習得は欠かせません。「米菓」「和菓子」「酒造」「介護」「ビジネス全般」の5つの分野で社内段位認定制度をスタートし、役員やベテラン社員が講師となって分野ごとに勉強会を開催しております。

中堅・若手社員勉強会、先輩の話を聞く会

中堅・若手社員の有志を対象に、人生と仕事の先輩である役員が講師となって幅広い人間教育を行う勉強会(通称「浜田塾」「吉田塾」など)をスタートしました。また昨年に引き続き、経験ある幹部社員が自らの知見を後進に伝える講話会(先輩の話を聞く会)も行っています。

MG(マネジメントゲーム)研修

企業の儲かる仕組み(会計の構造)を理解し、仕事の判断をより的確なものにする管理会計STRAC(ストラック)を導入しております。管理会計をゲーム感覚で理解できるMG(マネジメントゲーム)研修を社内インストラクターの指導の下、定期的に実施しております。



MG研修 2007年以降
べ250人以上が参加
(1100期以上実施)



MG研修 2007年以降
べ250人以上が参加
(1100期以上実施)

○ 早朝講話会

マスヤグループ全体

今年も、従業員有志による伊勢神宮参拝と社外講師をお招きしての早朝講話会を行いました。計4回実施し、延べ197名が参加しました。

第7回(2010年1月9日) 「座禅体験(男性対象)」と「講話(女性対象)」

講師:松尾観音寺 住職 木造隆誠 氏

講師:アール・エフ・ヤマカワ(株) 副社長 山川富喜子 氏

第8回(2010年4月3日) 「食品化学のABC」

講師:三重大学大学院地域イノベーション学研究科 准教授 三島隆 氏

第9回(2010年7月3日) 「わが社の経営品質への取組み」

講師:三州製菓(株) 代表取締役 斎之平伸一 氏(平成17・18年経済産業省IT経営百選最優秀賞)

第10回(2010年10月2日) 「今の子供達への対し方」

講師:安藤塾(株) 代表取締役社長 安藤大作 氏



早朝講話会の様子



○ 「食の検定」を団体受検

グループ全体



「食の検定」受検の様子

食に携わる従業員に“食育”的大切さを理解してもらうため、(社)食の検定協会が主催する「食の検定」試験への挑戦を奨励しています。

6月に46名の従業員が食の検定3級を団体受検し、36名が晴れて合格しました。グループ内受検者の合格率75%は、全国平均の合格率65%を上回る結果でした。11月には、第二回目の団体受検を行いました。

○ 慶應義塾大学ケース「良き企業文化の醸成」取材

グループ全体

ファミリービジネスや地域活性化を研究されている慶應義塾大学総合政策学部飯盛研究室の学生の皆さんのが2月にマスヤグループの理念経営の様子を取材に訪れました。浜田社長や従業員との面談を通して、私たちマスヤグループの「“良い会社”づくり」の経緯、経営者・従業員の思いや行動の軌跡を物語風のケーススタディとしてまとめていただきました。このケーススタディは、今後、慶應義塾大学を中心に行なわれる教材の一つとして使われることになっています。



取材風景

○ 「人を大切にする経営」の実践

グループ全体・各社



管理職研修の様子

「管理職集中研修」の実施 グループ全体

「人が育つ会社、育てる風土」の実現はまず管理職の意識改革から、ということで、1月から4月にかけて、3回にわたり延べ86名が参加する管理職集中研修を実施しました。管理職同志の話し合いの場では「上司が心を開かなければ部下も心を開いてくれない」など熱い意見も飛び出し、一連の研修の最後には「管理職は良き教育者たれ」の宣言を行いました。

また、昨年までに引き続き、各部署で上司や先輩が座長となり仕事の場を離れて少人数で語り合う「寄合」活動も行っております。この一年間の実施回数は348回にのぼり、一緒に働く者同士がお互いの人となりを理解し合うのに役立てました。

ワクドキ委員会の活動 (株)マスヤ

(株)マスヤのミッション実現に向けた活動の一環として、「ワクドキ委員会」を組織し、ボーリング大会やスポーツイベントを実施し、職場の仲間と集って大いに楽しい時間を過ごしました。



ワクドキ運動会

「人事制度2009」に基づく社員登用 グループ全体

「人を大切にする経営」の一環として導入した「人事制度2009」に基づき、社員登用を希望する熱意あるパート従業員の皆さんの登用試験を実施しました。4月に5名の方が登用対象となり、1年間の契約社員期間を経過して来年4月には正社員となる予定です。

資格取得援助手当を新設 (株)エムケイ・コーポレーション

社外での研修機会への参加や職務に必要な資格取得を積極的に支援するために、資格取得援助手当を新設しました。今年度は介護福祉士、社会福祉士、2級ヘルパーなどの資格を取得した7名に同手当を支給しました。

伊勢萬「対話合宿」の開催 (株)伊勢萬

「自律型人材」育成の大切さを提唱する株式会社シェイク 森田代表を講師にお招きし「真のチームワークの発揮へ」をテーマに社員(19名)が1泊2日の合宿に参加しました。熱気あふれる研修は参加者にたくさんの「気づき」をもたらし、仲間の個性を知り認め合うことで連帯感、モチベーションが高まりました。



(株)伊勢萬「対話合宿」

3 地域貢献

地域社会の豊かさづくりのお手伝い

三重県小規模企業環境保護規格(M-EMS ミームス)の認証取得

(株)マスヤ・(株)和菓子の万寿や・
(株)マスヤグループ本社



社内の点検風景

行動指針「省エネ・廃棄物削減の知恵と工夫で環境を守る」の実践のために、三重県が推奨する小規模企業環境保護規格(通称:ミームス)に挑戦しました。2010年11月に行われた本審査の結果、晴れてステップ2(ISO14001と同じ要求項目)の基準を満たしていることを認定されました。(2011年1月正式に認証取得の予定です)

【主な取組内容】

1. 環境への取組を数値で記録(改善につなげやすくなる)
2. 環境マネジメントシステムの制定、環境委員会の設置(連絡・報告手段確立)
3. 遵守すべき環境関係法規の明確化

【環境改善活動5つの目標】

- | | |
|---------------|----------------|
| ① エネルギー使用量の削減 | ④ エコ製品購入の推進 |
| ② 産業廃棄物排出量の削減 | ⑤ 工場周辺の清掃等啓発活動 |
| ③ 紙使用量の削減 | |

地域スポーツイベントへの参加

グループ全体

地域や業界の仲間が主催するスポーツイベントに積極的に参加しました。スポーツ好きの従業員にとっては職場の仲間たちから声援を受けながらの活躍の舞台として、また地域や同業他社の皆さんとの交流や親睦の場として、大いに盛り上りました。こうしたスポーツ大会の様子は、地域コミュニティを元気にする地域企業の取組みの好例として地方紙でも取り上げられました。マスヤグループのアスリートたちの主な“戦績”は以下の通りです。

- 天下一武道会2010(2010年5月15日)…「スポーツチャンバラ」部門・勝利者賞
- 三重大学国際交流スポーツ大会(2010年7月11日)…ソフトバレー・優勝
- ~美し国 元気祭!~企業対抗球技大会(2010年9月4日)…フットサル・優勝、ドッヂボール・準優勝、卓球・準優勝、ソフトバレー・ベスト4
- 第二回オネスト杯卓球大会(2010年10月23日)…優勝



「企業対抗球技大会」

三重県立明野高校とのコラボレーション

(株)和菓子の万寿や・(株)伊勢萬



高校生ならではの発想で創作

和菓子講習～菓子コンテスト(伊勢・多気)に応募

(株)和菓子の万寿や

明野高校の生活教養科から、伊勢産業支援センターの企画する「伊勢みやげ菓子ワンコンテスト」に応募いたしました。高校生ならではのユニークなアイデアや常識にとらわれない製法で、ひじきを使ったり、伊勢茶あんにしたり、刻んだ伊勢たくあんを入れたりと果敢にチャレンジしました。地元名産のあおさを白あんに練り込んで求肥で包んだ「あおさ塩大福」が惜しくも本選で涙を飲んだ様子は地元テレビのニュースでも話題として取り上げられました。また、多気町で行われた「高校生スイーツ大会」にも参加しました。

「ジャム」のプロデュース

(株)伊勢萬

「企業として地域活性化に貢献したい」私達の思いと、明野高校で「何代にもわたって実習や課題研究の中で改良を続けた定評ある明野高校ジャムを活かして地域に貢献したい」という思いが一致し、地域の隠れた名品「明野高校ジャム」をプロデュースし、一般販路への販売展開を進めています。明野高校食品科学科の伝統のレシピを用い添加物を一切使用しない、こだわりの苺ジャムとブルーベリージャムです。



ラベルデザインの検討

○ 産学官の連携事業への参加

グループ全体



インターン生による研究発表



菓子ワンコンテスト審査風景



柚子の植地を視察

地域における各種講演会への参加

産学官連携による地域づくりの各種イベントに、民間企業の立場からグループ代表の浜田が積極的に参加しました。

- 三重大学「バイオメディカル創業プロジェクト」審査員(2009年11月25日)
- (財)医食同源みえ「食育について考える」パネラー(2010年2月27日)
- 愛知大学・三重大学共催「まちづくりタウンフォーラム」講演(2010年8月2日)
- 「内田塾」(三重大学内田淳正学長の私塾)講演(2010年10月12日)

三重大学よりインターン受け入れ (株)マスヤ・(株)和菓子の万寿や・(株)伊勢萬

本年も三重大学より大学院生・大学生合わせて3名の学生を受け入れました。マスヤグループのさまざまな業務を体験する中で、ビジネスや社会に関してたくさんのお気づきを得てもらうお手伝いをさせて頂きました。

伊勢産業支援センター「伊勢みやげ菓子ワンコンテスト」 (株)マスヤ

「新たな“伊勢みやげ”となりうるお菓子のアイデアを見つけだし、またそれを普及する活動を通じて、観光地である伊勢市の産業振興を図り、元気ある街づくりに寄与する」趣旨に共感し、協賛させていただきました。グランプリ受賞作品となった「伊勢ひじきせんべい」の商品化について、三重ブランド「伊勢ひじき」認定企業の(株)北村物産様と(株)マスヤの連携で進めております。

大台町「柚子プロジェクト」 (株)伊勢萬

三重大学地域イノベーション学研究科矢野教授らが主導する地域活性化プロジェクトの一つである山間村などに柚子を植え地域特産に育てていく活動に、提携企業として参加しております。

○ エムケイ・コーポレーションの地域における事業活動

(株)エムケイ・コーポレーション

認知症サポーター養成講座

地域社会の高齢化が進行する中、グループ従業員一人ひとりがこの問題について考えるきっかけとして、また各家庭における日常の介護への心構えとして、「認知症サポーター養成講座」を社内で随時開催しております。受講者は延べ138名となりました。

地産地消ランチビュッフェ

昨年に続き、グループ本社食堂で月1回地域食材中心の特別メニューを提供しております。この活動を通じて地元の農漁業者との関わりが生まれてきております。

配食サービス事業の開始

高齢化が進む地域のニーズにお応えする為、8月に新事業として配食サービス事業を開業し、地域のお年寄り宅などをを中心に昼食と夕食の配達を行っています。

ミニコンサート

ポピー・デイサービスセンターにてグループ従業員が演奏するミニコンサートを開催しております。今年は地元出身のプロの演奏者にも客演を依頼し、生で聴く本格的な演奏に利用者さんからも感動の声が聞かれました。

「小俣まちづくり協議会」への参加

地元小俣町の町づくり協議会の「活力を未来に繋ぐ町づくり委員会」へ、グループの窓口として社員1名を委員として派遣しています。

デイサービスセンターの実習生受入れ

教育実習の一環として地元大学の学生や地元出身の大学生を18名、各々一週間のサイクルで受け入れました。



「地産地消ランチビュッフェ」



「ミニコンサート」

株式会社 マスヤ

株式会社 和菓子の万寿や

株式会社 伊勢萬

株式会社 日乃本米菓製造

万寿家(天津)食品有限公司
